

# 大日本コンサルタンツ(株) 川神 雅秀 会長

## トツプ が 語 る 思い出の 橋 梁



「中間支点部の鋼製支承の設計が忘れられない。ピン支承の鉛直反力は1万2400ト、ピンローラー支承のそれは1万1100ト。その上、高さ3・2層と

業務に巡り合った。主構造の構造解析や横トラスの設計などに主担当として従事した。

「構造上の特性から主構造の構造解析は、膨大な節点数を有する立体解析を必要とした」。コーディングシートの山と

カードパンチ作業との格闘の日々、そして夜を徹しての電算処理。期限が迫る中、思うように作業が進まず悪戦苦闘の日々が延々と続いた。

「仲間の温かい声に染み込んだ。負けてたまるか、と自らを奮い立たせる日々だった」と振り返る。

没頭して取り組んだ成果は、後の技術士や博士号の資格取得へとつながり、飛躍のきっかけとなった。「業務を通じて自分流の仕事のやり方が身に付き、仕事を通じた信頼が絆となり、数多くの学界、官界、民間の知己を得た。与島橋と

### 「与島橋」

の運命的な出会いが、私の人生を豊かなものにしてくれた」。(阿部清司)

▼データ 橋梁名||与島橋、路線名||瀬戸中央自動車道本四備讃線、橋長||588m、主構幅||28×32層、上部工形式||道路鉄道併用ダブルデッキ構造 鋼3径間連続トラス橋(ワーレントラス、一部Kトラス)、平面線形||R1300層とサイン減速曲線、下部工形式||RCラーメン橋脚+直接基礎、設計者||大日本コンサルタンツ



閉合直前の与島橋 (当時)